

内子町の小田地区とアメリカのシリコンバレーをつなげられないか。旧小田町出身の九州大工学部3年、神岡美咲さん(22)=福岡市=の発案で、小田高校(内子町寺村)の生徒と現地の日本人を結ぶインターネット授業が15日、町

文化交流センター「スバル」(同)で実現した。世界的企業が立地する地から革新の気風が吹き込んでくるようで、生徒は大きな刺激を受けていた。

小田高に革新の風立つ



シリコンバレーと結んだ小田高生の運命

神田美咲さん

授業には小田高生21人が出席。同法人の榎本博之学長は「多様な国の人々が集まるので常識・非常識の境界の幅が広く、非常識などをしても目立たない。だからイノベーション（革新）がどんどん生まれる」と説明。知識をつけて物事に挑戦する大切さを呼び掛けた。

ものが生まれている」と実感。内子町とシリコンバレーをつなげられないか町に提案し、NPO法人「シリコンバレー日本大学」とNTT西日本の協力を得て、授業が実現した。

紀元人(16)は「自分も小田のためにできるイノベーションがあるのではないか」と触発されていました。

神岡さんは「シリコンバレーは田舎だけど、面白い人が集まるところで、さらに人が集まる。小田のまちづくりのヒントにもなる」と語っていた。

町議会

日吉で山村留学
住民の75%賛同

△鬼北町△（15日・
定例）会期を27日まで
の13日間と決め、6議
案と2015年度決算

松下純次、井上博、
赤松俊二、坂本勇紀(以)

ワイドえひめ

WIDE EHIME